



平成 24 年 10 月 26 日
独立行政法人国立科学博物館

光合成する植物と光合成しない植物の雑種が 世界ではじめて開花しました！

国立科学博物館筑波実験植物園（園長 岩科 司）では、光合成する植物と光合成しない植物の雑種の開花に世界で初めて成功しました。

咲いた植物はラン科で、光合成をおこなうスルガランと光合成をおこなわないマヤランの雑種です。平成 18（2006）年 8 月に交配。栄養の入った寒天培地で播種・培養し、開花に 6 年を要しました。この植物が正常な葉をつけて光合成をおこなうかどうかはまだ分かりません。今後、植物の進化や生理の研究材料としての利用が期待されます。当園研修展示館において展示中で、花の見ごろは今月末ごろまでの予想です。

ふつう植物は葉で光合成をおこない、自ら生きていくための栄養を作ります。ところが、共生する菌から栄養をもらう仕組みを発達させる代わりに光合成をやめ、葉を作らない進化をとげた種類が、ランなどにまれにあります。これまでに、光合成する植物と光合成しない植物の雑種が開花したことはなく、世界初の事例となります。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：中嶋 まさ枝

担当研究員：遊川 知久（植物研究部多様性解析・保全グループ長）

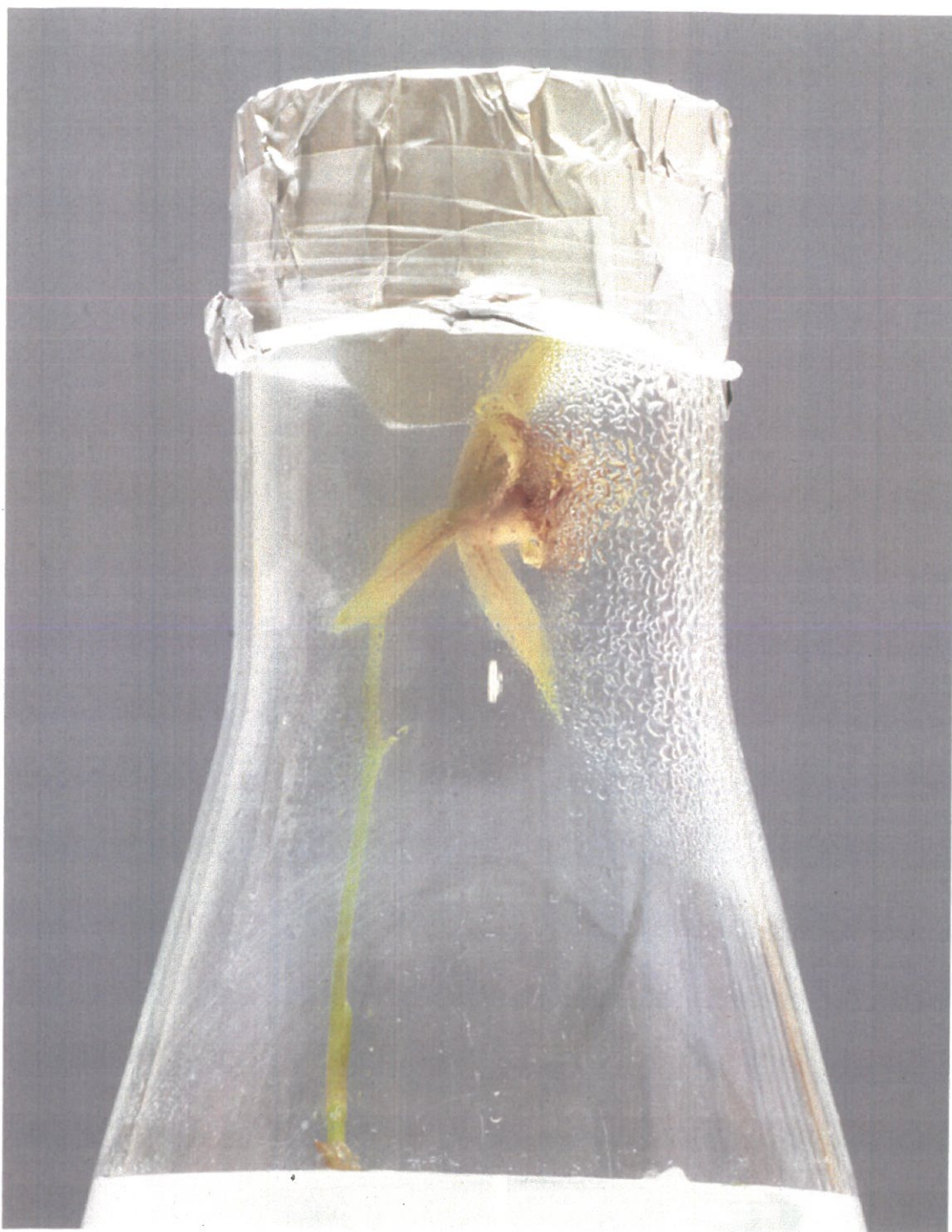
〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: mnakajim@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP <http://www.tb.g.kahaku.go.jp/>



世界で初めて開花した、光合成する植物と光合成しない植物の雑種。寒天培地に入れて培養中。高さ約 10 cm。